



印刷設定マニュアル

株式会社 スカイコム

## はじめに

本書は、SkyPDF Pro Driver（以下、本ドライバ）の製品概要と設定の詳細を説明するものです。本ドライバをご使用の際には、本書をご参照の上、正しくお使いください。

### 注意事項

本ドライバは、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

当社の書面による事前の許可なしに本書および本ドライバについて複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本ドライバを輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

### 免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

あらかじめご了承ください。

### 商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：ユーザーマニュアル(a.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

## 目次

はじめに .....	2
目次 .....	3
用語集 .....	4
1 機能概要 .....	5
2 印刷エラー .....	6
2.1 メッセージダイアログで通知する場合 .....	6
2.2 Windows ログで通知する場合 .....	7
3 設定画面 .....	8
3.1 設定画面の起動方法 .....	9
3.2 [簡単設定] タブ .....	12
3.3 [ページ設定] タブ .....	14
3.4 [圧縮オプション] タブ .....	18
3.5 [フォントの埋め込み] タブ .....	20
3.6 [セキュリティ] タブ .....	21
3.7 [すかし] タブ .....	23
3.8 [タイムスタンプ] タブ .....	25
3.9 [文書] タブ .....	29
3.10 [規格] タブ .....	31
3.11 [画像出力] タブ .....	33
3.12 [バージョン情報] タブ .....	35
4 制限・注意事項 .....	36
4.1 対応アプリケーションに関する事項 .....	36
4.2 ページ設定に関する事項 .....	36
4.3 PDF 規格に関する事項 .....	37
4.4 フォントの埋め込みに関する事項 .....	37
4.5 圧縮オプションに関する事項 .....	37
4.6 OS の機能に関する事項 .....	38
4.7 ハイパーリンクに関する事項 .....	38

## 用語集

本書における主な用語の定義をご説明します。

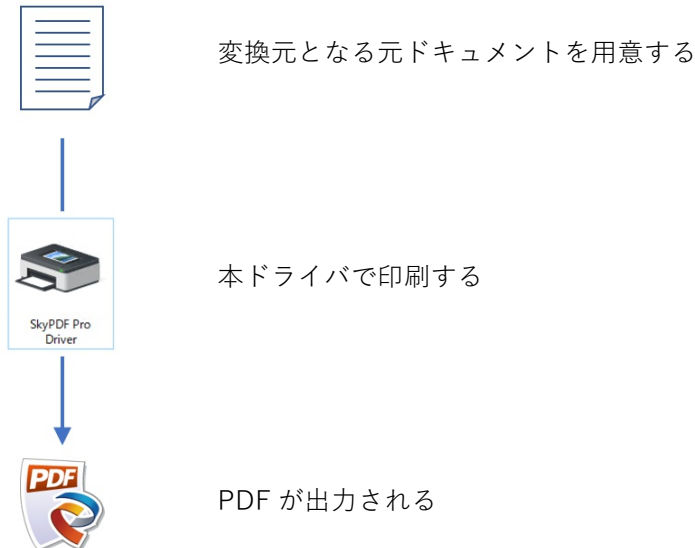
- ※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。  
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
コントロールパネル	コンピュータや WindowsOS の各種設定を行うための機能 スタートメニューのアプリ一覧の中の [Windows システムツール] または [Windows ツール] に含まれる
デバイスとプリンター	OS にインストールされているプリンターの一覧 コントロールパネルの [デバイスとプリンター] または [デバイスとプリンターの表示] から開く ※ OS によっては、コントロールパネルの「デバイスとプリンター」の他に、スタートメニューの [設定] - [ (Bluetooth と) デバイス ] - [プリンターとスキャナー] でも同様のデバイス管理画面を開くことができます。「デバイスとプリンター」ではプリンター右クリックから行う操作は、「プリンターとスキャナー」ではプリンターを選択すると表示される各種メニューから操作してください。
Word	別紙「ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Word を指す
Excel	別紙「ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Excel を指す
PowerPoint	別紙「ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office PowerPoint を指す
Visio	別紙「ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Visio を指す
Office	Word、Excel、PowerPoint の 3 つを指す Visio は含まない
Office アドイン機能	Office のリボンに本ドライバのアイコンを登録する機能
一太郎	別紙「ユーザーマニュアル(a.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された一太郎を指す
元ドキュメント	本書では、本製品を使用して PDF 化する前の文書ファイルを指す
PDF/A	PDF/A-1b、PDF/A-2b、PDF/A-3b、PDF/A-4 の規格に準拠した PDF を指す
PDF/X	PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003 の規格に準拠した PDF を指す
UWP アプリ	ユニバーサル Windows プラットフォームアプリ OS によっては Windows ストアアプリやユニバーサル Windows アプリともいう OS 標準搭載の一部のアプリや Microsoft Store からインストールしたアプリ

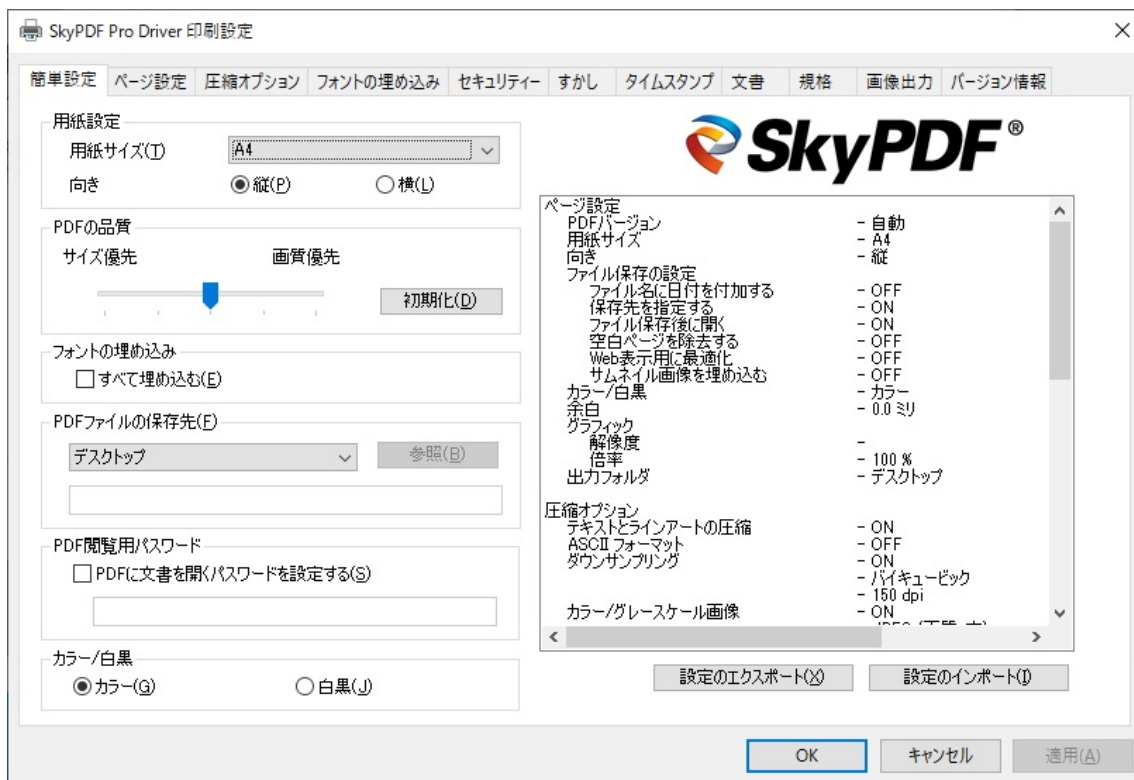
## 1 機能概要

本ドライバは、PDF を作成するための仮想プリンタードライバです。様々なアプリケーションで作成した様々な形式のファイルを PDF に変換することができます。

### 印刷機能を使って PDF を作成する



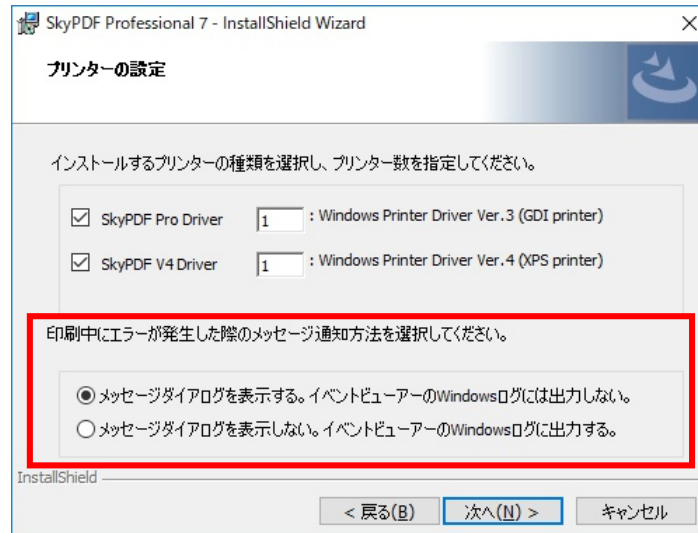
### 作成する PDF については印刷設定画面から設定する



## 2 印刷エラー

本ドライバは、様々なアプリケーションで作成したドキュメントを、印刷と同様の手順で PDF に変換することができます。

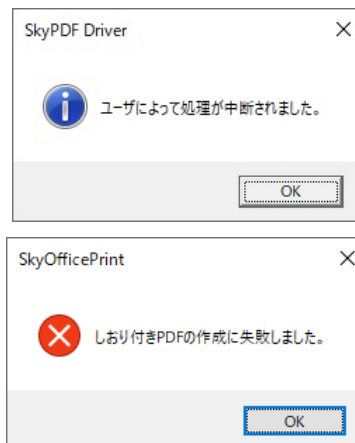
印刷中にエラーが発生した場合は、インストール時に下図の箇所を設定した方法でエラーメッセージを通知します。



### 2.1 メッセージダイアログで通知する場合

メッセージダイアログで通知するよう設定してインストールした場合、印刷実行中にエラーが発生すると、画面にメッセージダイアログが表示されます。

メッセージ内容を確認し、[OK] または [X] を押してダイアログを閉じてください。

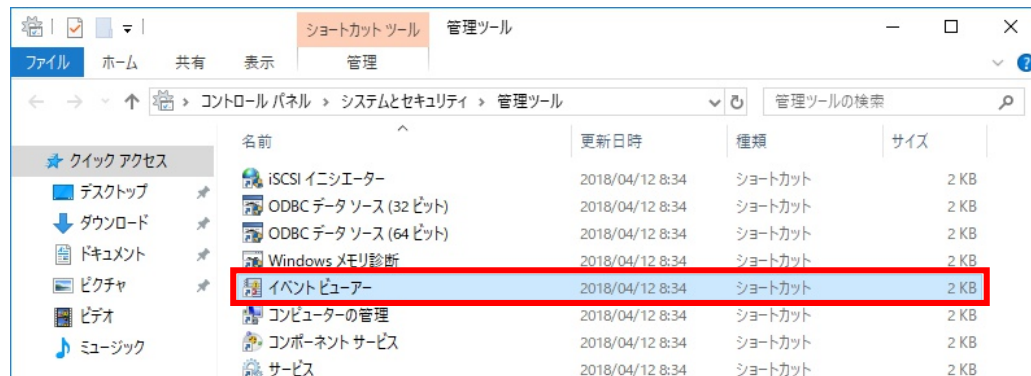


## 2.2 Windows ログで通知する場合

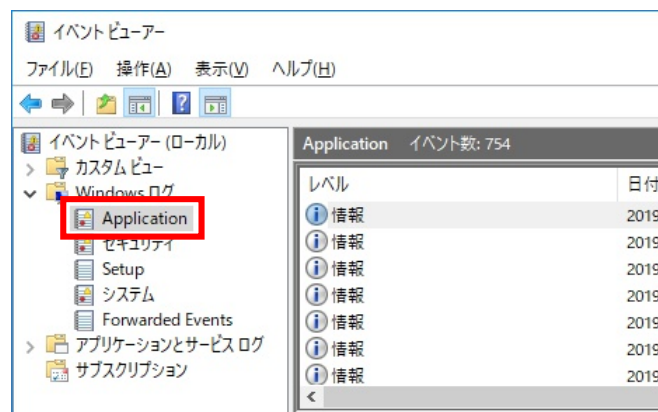
メッセージダイアログは表示せず、システムイベントの Windows ログに登録するよう設定してインストールした場合、印刷中のエラーは OS の「イベント ビューアー」で確認してください。

1. [コントロールパネル] (－ [システムとセキュリティ] ) － [管理ツール] ※などから [イベント ビューアー] を開きます。

※ OS によっては [管理ツール] ではなく [Windows ツール] の場合があります。



2. [Windows ログ] の [Application] を開きます。

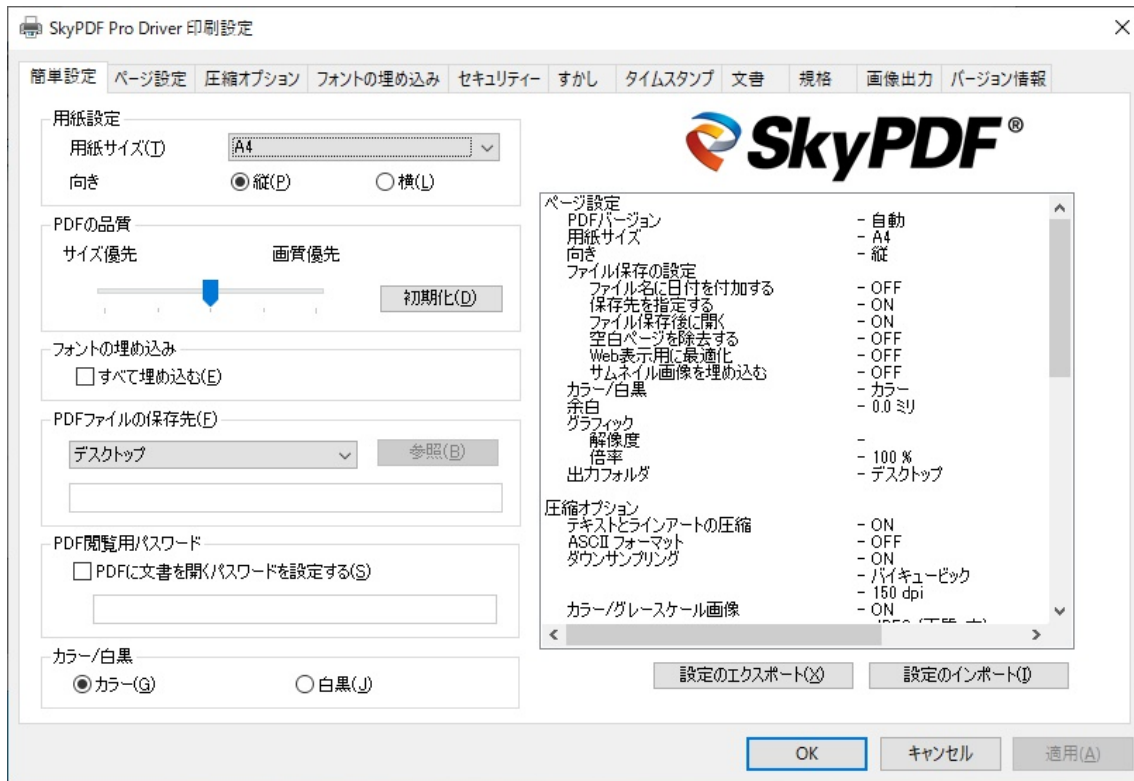


3. エラー内容を確認します。

レベル	エラー
ソース	SkyPDF Pro Driver
イベント ID	3
情報	<p>Message:</p> <p>エラー事由</p> <p>Reference information:</p> <p>Printer Name: プリンター名</p> <p>Doc Info Name: DOCINFO 構造体にて渡されたドキュメント名</p> <p>PDF File Name: PDF ファイル出力先パス</p> <p>Job ID: ジョブ ID</p>

### 3 設定画面

本ドライバの各種設定は、設定画面から行います。



設定画面では、以下のような設定の変更と確認が可能です。

設定タブ	詳細
簡単設定	参照： <a href="#">3.2 [簡単設定] タブ</a>
ページ設定	参照： <a href="#">3.3 [ページ設定] タブ</a>
圧縮オプション	参照： <a href="#">3.4 [圧縮オプション] タブ</a>
フォントの埋め込み	参照： <a href="#">3.5 [フォントの埋め込み] タブ</a>
セキュリティ	参照： <a href="#">3.6 [セキュリティ] タブ</a>
すかし	参照： <a href="#">3.7 [すかし] タブ</a>
タイムスタンプ	参照： <a href="#">3.8 [タイムスタンプ] タブ</a>
文書	参照： <a href="#">3.9 [文書] タブ</a>
規格	参照： <a href="#">3.10 [規格] タブ</a>
画像出力	参照： <a href="#">3.11 [画像出力] タブ</a>
バージョン情報	参照： <a href="#">3.12 [バージョン情報] タブ</a>



## 3.1 設定画面の起動方法

本ドライバの設定画面を起動する方法は複数あり、どこから起動するかによって設定の適用範囲が異なります。

### 3.1.1 アプリケーションの印刷画面から起動する方法

アプリケーションの印刷画面を開き、プリンターに本ドライバを設定して「**プリンターのプロパティ**」※を押すと、本ドライバの設定画面が開きます。

※ 下図の例（Microsoft Word 2016）では「プリンターのプロパティ」ですが、Windows 標準の「メモ帳」では「詳細設定」、一太郎では「プロパティ」など、アプリケーションによって名称が異なります。



表示された設定画面で設定を変更し、[OK] を押せば、このアプリケーションから行う印刷に対し設定内容が適用されます。

ここで行った設定は一時的な設定であり、アプリケーションの終了と同時にリセットされます。

※ Excel の場合は、ファイルごとに印刷設定を保存する Excel の仕様により、アプリケーションを終了しても設定内容がファイルに保存されている場合があります。

### 3.1.2 セットアップまたは Setting アイコンから起動する方法

本ドライバは、Word / Excel / PowerPoint に対しアイコン登録を行うことができます。

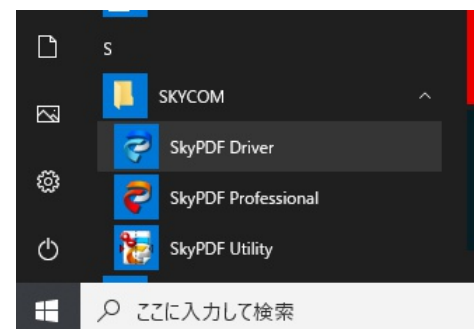
アイコンを登録するための SkyPDF セットアップと、アイコン登録後の Setting アイコンからも、本ドライバの設定画面を起動することが可能です。

ここで行った設定は永続的な設定であり、常に適用されます。

また、設定内容は、Windows のユーザーアカウントごとに保存されます。

### SkyPDF セットアップ

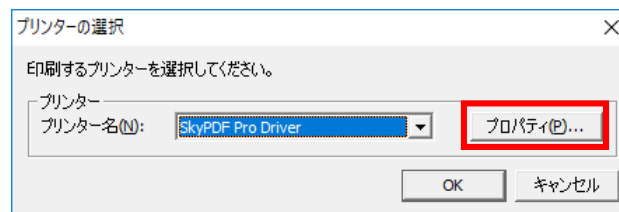
1. スタートメニューのアプリ一覧から「SkyPDF Driver」を選択すると、SkyPDF セットアップが起動します。



2. 「印刷設定」を押すと、プリンターの選択画面が表示されます。



3. プリンターを選択し「プロパティ」を押すと、設定画面を開くことができます。



4. 「OK」を押すと、選択したプリンターが Office アドインで使用するプリンターとして登録されます。

### SkyPDF アドインの Setting アイコン

アイコン登録を行っている場合、Office アプリケーションのリボンに「SkyPDF」タブが追加されます。

「SkyPDF」タブの「Setting」をクリックすると、上記 SkyPDF セットアップで選択したプリンターの設定画面を開くことができます。

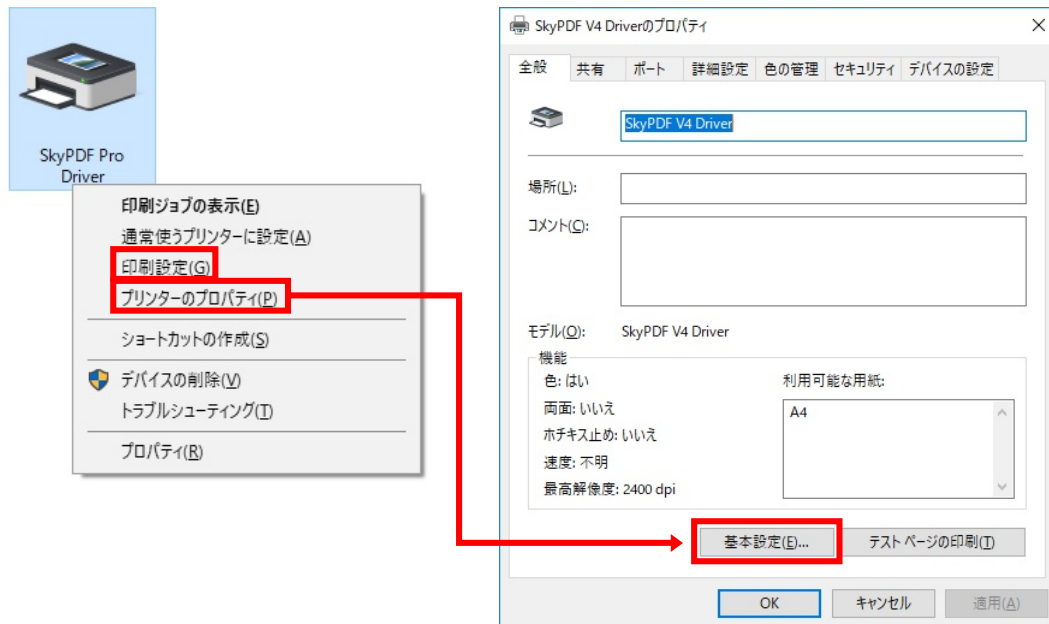
※ 未設定の場合はプリンターの選択画面が表示されます。



### 3.1.3 コントロールパネルから起動する方法

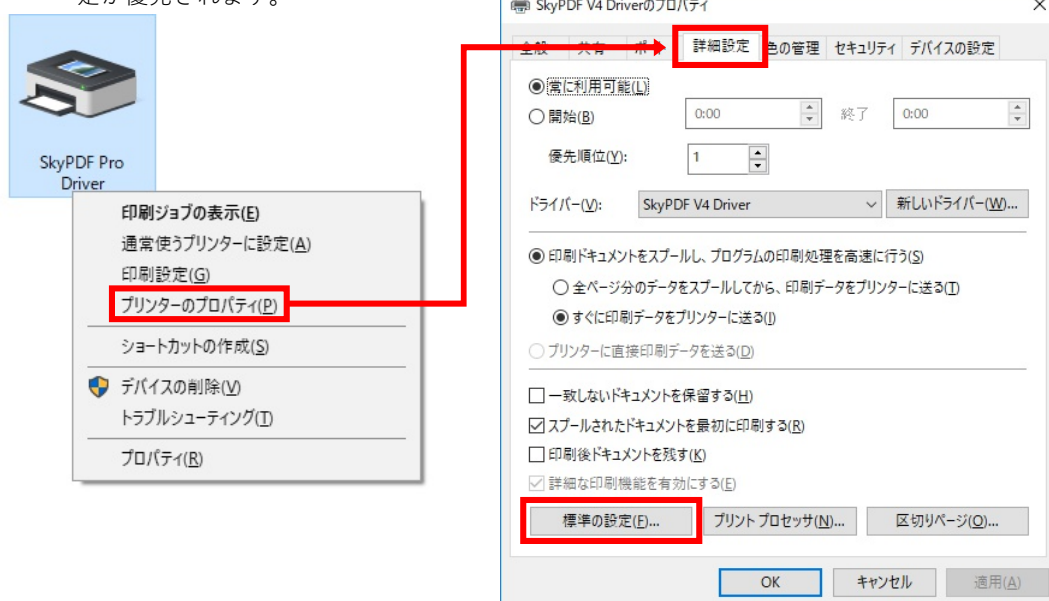
本ドライバは、コントロールパネルの [デバイスとプリンター] から設定を変更できます。  
ここで行った設定は永続的な設定であり、常に適用されます。

1. デバイスとプリンター（参照：[用語集](#)）を開きます。
2. プリンターの一覧の中から本ドライバを右クリックし、[印刷設定] または [プリンターのプロパティ] を選択します。
  - a. Windows のユーザーアカウントごとに設定する場合  
[印刷設定]、または、[プリンターのプロパティ] - [基本設定] を選択します。



- b. Windows のユーザーアカウントすべてのデフォルト設定を変更する場合  
[プリンターのプロパティ] - [詳細設定] タブ - [標準の設定] を選択します。

※ b はデフォルト設定を変更するものです。a の方法で設定を変更したユーザーアカウントは、a の設定が優先されます。



3. 表示された設定画面で設定を変更し [OK] を押せば、次回から設定内容が適用されます。

## 3.2 「簡単設定」タブ

設定画面の「簡単設定」タブの各項目について説明します。

「簡単設定」タブでは、用紙サイズ、印刷品質、出力先など、他のタブで設定する項目の一部を簡単に設定することができます。



### 用紙設定

PDF の用紙サイズと用紙の向きを設定します。（参照：[3.3 「ページ設定」タブ](#)）

### PDF の品質

PDF の品質を、「サイズ優先」と「画質優先」のスライダーで設定します。

（参照：[3.4 「圧縮オプション」タブ](#)）

	サイズ最優先	サイズ優先	標準	画質優先	画質最優先
バーの位置					
グラフィック (解像度)	150dpi	300dpi	600dpi	600dpi	600dpi
ダウンサンプリング	バイリニア	バイリニア	バイキュービック	スーパー サンプリング	補間方法 チェック OFF
補間解像度	150dpi	150dpi	150dpi	300dpi	補間方法 チェック OFF
カラー/グレースケール 画像圧縮	JPEG (画質 - 最低)	JPEG (画質 - 低)	JPEG (画質 - 中)	JPEG2000 (画質 - 中)	JPEG2000 (画質 - 高)
白黒画像圧縮	Zip	Zip	CCITT グループ 4	Run Length	Run Length

### フォントの埋め込み

PDF で使用するフォントの情報を PDF 内にすべて埋め込む場合にチェックします。

(参照: [3.5 \[フォントの埋め込み\] タブ](#))

### PDF ファイルの保存先

[マイドキュメント] [デスクトップ] [カスタム] の中から PDF の保存先を選択します。

[カスタム] 選択時は、[参照] を押すか、テキストボックスにファイルパスを直接入力して保存先を指定します。

(参照: [3.3 \[ページ設定\] タブ](#))

### PDF 閲覧用パスワード

PDF ファイルを開く際に使用するパスワードを設定します。

(参照: [3.6 \[セキュリティ\] タブ](#))

### カラー/白黒

PDF の色を [カラー] [白黒] のいずれかに設定します。

[白黒] を選択した場合は、グレースケールの PDF となります。

(参照: [3.3 \[ページ設定\] タブ](#))

### 設定のエクスポート/インポート

他のタブを含む印刷設定内容の保存と読み込みが可能です。

項目	説明
設定のエクスポート	印刷設定ファイル (*.ssf) の作成・保存
設定のインポート	印刷設定ファイル (*.ssf) の読み込み

### 3.3 「ページ設定」タブ

設定画面の「ページ設定」タブの各項目について説明します。

「ページ設定」タブでは、用紙サイズや余白、PDF の保存に関して設定することができます。

※ エンドキュメントに対しアプリケーションで設定した内容と異なる場合、アプリケーションでの設定が優先されます。

#### PDF バージョン

出力する PDF のバージョンを変更できます。PDF のバージョンによって設定できる機能に差があります（下表参照）。「自動」を選択すると、設定されている機能に応じた PDF バージョンで出力できます。また、出力した PDF は、その PDF バージョンや設定した機能に対応した PDF ビューアーで表示してください。

◎：設定必須 ○：設定可 ×：設定不可 記載の無い機能：影響無し

機能		PDF バージョン				
カテゴリ	設定項目	1.4	1.5	1.6	1.7	2.0
圧縮オプション	カラー/グレースケール画像：JPEG2000	×	○	○	○	○
セキュリティ	暗号化レベル：40-bit RC4	○	○	○	○	×
	暗号化レベル：128-bit RC4	○	○	○	○	×
	暗号化レベル：128-bit AES	×	×	○	○	×
	暗号化レベル：256-bit AES	×	×	×	○	○
	アクセスビリティを無効にする	○	○	○	○	×
文書	文書情報をメタデータとして出力する	○	○	○	○	◎
規格	準拠する規格： PDF/A-1b, PDF/A-2b, PDF/A-4, PDF/X-1a(2001), PDF/X-1a(2003)	自動				

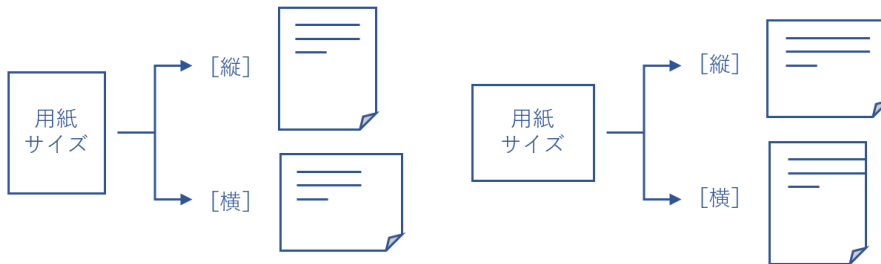
## 用紙サイズ

作成する PDF の用紙サイズを設定します。

項目	説明
標準	選択可能な定型の用紙サイズ
サイズ指定	<p>[幅] × [高さ] で指定した用紙サイズ (1~94.5 インチ)</p> <p>※ 単位は [サイズ指定と余白の単位] で選択できます。</p> <p>1 インチ = 72.0 ポイント = 25.4 ミリ</p>

## 向き

用紙の向きを [縦] または [横] から選択します。



項目	説明
縦	用紙サイズの持つ [幅] を横の辺、[高さ] を縦の辺とした用紙の向き
横	用紙サイズの持つ [高さ] を横の辺、[幅] を縦の辺とした用紙の向き

## 余白

PDF の上端と左端の余白を設定します。

項目	説明
余白	<p>用紙の上端と左端の余白</p> <p>※ 設定した余白は、元ドキュメントに対してアプリケーションから指定した余白に加算されます。そのため、アプリケーションでの設定と併用すると、アプリケーションでの表示より右下に移動し、用紙サイズからはみ出した部分は表示されません。</p> <p>※ 単位は [サイズ指定と余白の単位] で選択できます。</p>
サイズ指定と余白の単位	<p>[インチ] [ポイント] [ミリ] の中から単位を選ぶ</p> <p>単位を変更すると、[サイズ指定] と [余白] に入力されている数値は、単位に合わせて自動的に変換される</p> <p>※ 1 インチ = 72.0 ポイント = 25.4 ミリ</p>

## ファイル保存後に開く

PDF の保存完了後、自動的に PDF ビューアーで開きます。

## 空白ページを除去する

元ドキュメント内に含まれている空白ページを自動的に削除して PDF を作成します。

- ※ PowerPoint ファイルの場合は適用されません。
- ※ Word ファイルの場合、改行や改ページで作成した白紙ページは削除されません。

## Web 表示用に最適化

Web 上で表示するのに最適な構成で PDF を作成します。

- ※ ページ単位でダウンロードできるようになるため、表示時間の短縮に有効です。

## サムネイル画像を埋め込む

作成する PDF にサムネイル画像（各ページの縮小画像）を埋め込みます。

サムネイル画像をあらかじめ埋め込んでおくと、PDF ビューアーでサムネイルをすばやく表示することができます。

※ 解像度が 72～1200dpi で有効となります。

## カラー/白黒

作成する PDF の色設定を、[カラー] または [白黒] から選択します。

項目	説明
カラー	元ドキュメントの色を変更せずに PDF に変換する
白黒	元ドキュメントの色にかかわらず、グレースケールの PDF に変換する

## グラフィック

作成する PDF の解像度と倍率を設定します。

項目	説明
解像度	PDF の解像度 72dpi、96dpi、150dpi、300dpi、600dpi、1200dpi、2400dpi の中からひとつ選択することができる ※ 通常、解像度が高いほど文書のレイアウトは正確になりますが、ファイルサイズが大きくなります。 ※ 元ドキュメントのレイアウトを変えずに PDF を作成する場合や、高品質での印刷が必要な場合は、300dpi 以上を指定してください。
倍率	用紙サイズを変えずに、指定した倍率で印刷する (例) 用紙サイズとして A4 を指定し倍率を 50% で PDF 作成すると、元ドキュメントの内容が 50% に縮小され、A4 用紙の左上に表示される。

## 出力設定

作成する PDF のファイル名や保存先のフォルダに関して設定します。

項目	説明
保存ダイアログを表示する	PDF ファイルを出力するたびに「PDF ファイルに名前をつけて保存」ダイアログボックスを表示し、保存先とファイル名を指定する ※ この設定は、インストール時にメッセージ通知方法として Windows ログを選択した場合は設定できません。
指定した保存先フォルダに出力する	「保存先フォルダ」で指定された場所に元の文書のファイル名（拡張子の前の部分）と同じファイル名で保存する
保存先フォルダ	<div> 「保存ダイアログを表示する」選択時は「PDF ファイルに名前をつけて保存」ダイアログボックスの初期表示フォルダ、[指定した保存先フォルダに出力する] 選択時は PDF ファイルの出力先となる  [初期化] をクリックすると、インストール時に指定した内容に設定を戻す </div>
マイドキュメント	保存先を「マイドキュメント」にする
デスクトップ	保存先をデスクトップにする
(テキストボックス)	保存先フォルダのパスを直接入力するか、[参照] をクリックして任意のフォルダを指定する
最後に保存したフォルダ	<div> 「保存ダイアログを表示する」選択時に設定できる  「PDF ファイルに名前をつけて保存」ダイアログボックスの初期表示先を前回の保存先フォルダにする場合に選択する </div>

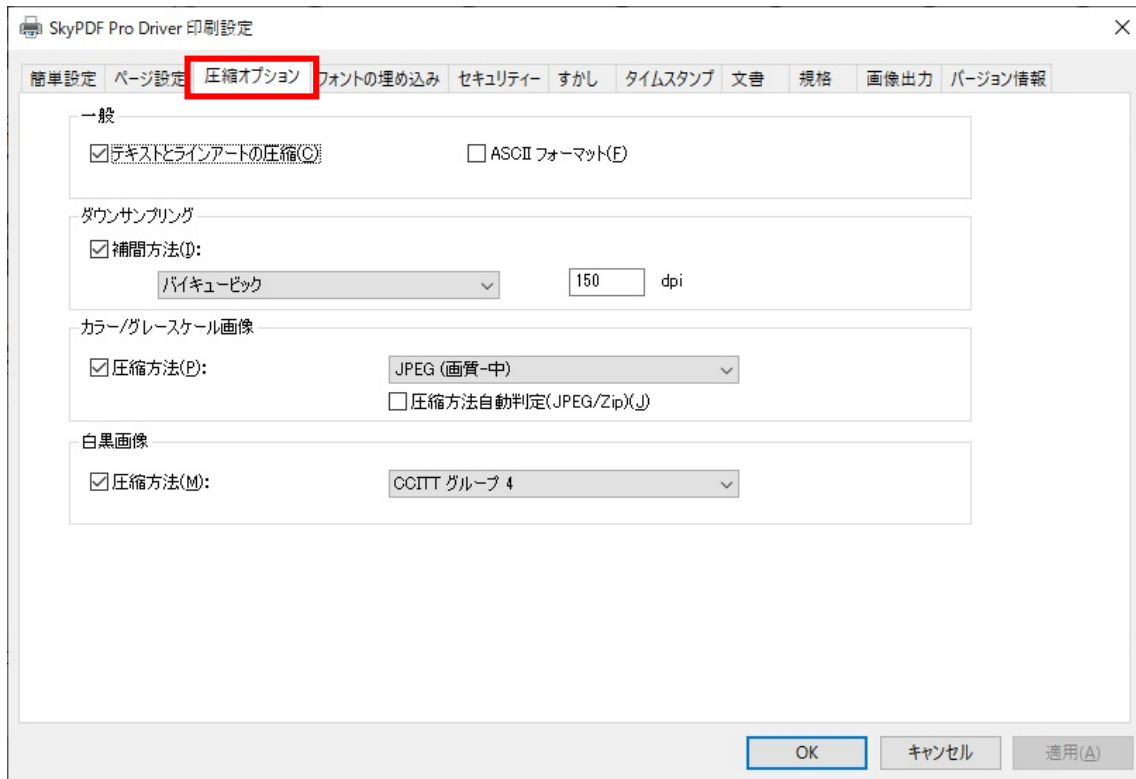


同名ファイルが存在した場合の設定	<p>作成する PDF と同名のファイルが保存先フォルダに既に存在する場合、どのような処理を行うかあらかじめ設定する</p> <p>※ 「上書き」または「既存ファイルの後に追加する」を設定した場合は、PDF 作成に十分注意してください。誤って重要な PDF を変更してしまう危険性があります。</p>
警告ダイアログを表示する	<p>「○○○.pdf は既に存在します。上書きしますか？」と確認メッセージを表示する</p> <p>※ 「キャンセル」を選択すると、「保存先を指定する」設定を有効にしている場合は保存先とファイル名を変更するダイアログに戻り、無効にしている場合は印刷をキャンセルします。</p> <p>※ メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は設定できません。</p>
上書き	警告メッセージ無しで、既存の同名ファイルに上書きする
ファイル名に連番を付けて保存する	<p>ファイル名の後に、1 から 99,999 までの連番を付けて別名保存する</p> <p>99,999 を超えるとエラーになり、PDF ファイルは作成されない</p> <p>(例) 「ABC.docx」を同じ保存先に連続して 3 回 PDF 変換した場合 1 回目: 「ABC.pdf」、2 回目: 「ABC1.pdf」、3 回目: 「ABC2.pdf」</p>
既存ファイルの後に追加する	<p>既存の同名ファイルの最終ページ以降につづけて追加する</p> <p>※ 既存のファイルにパスワードによるセキュリティが設定されている場合、同じパスワードで同等以上の暗号化レベルが設定されていないと、追加できません。また、セキュリティ設定は追加時の設定で上書きされます。</p>
ファイル名に日付を付加する	<p>出力する PDF のファイル名の末尾に、半角のアンダーバーを挟んで、出力日時を付与できる</p> <p>(例) ABC.docx を 2020 年 7 月 20 日 12 時 34 分 56 秒に PDF 変換した場合、PDF ファイル名は「ABC_20200720123456.pdf」となる</p>

### 3.4 「圧縮オプション」タブ

設定画面の「圧縮オプション」タブの各項目について説明します。

「圧縮オプション」タブでは、PDF に埋め込む画像の圧縮について設定することができます。

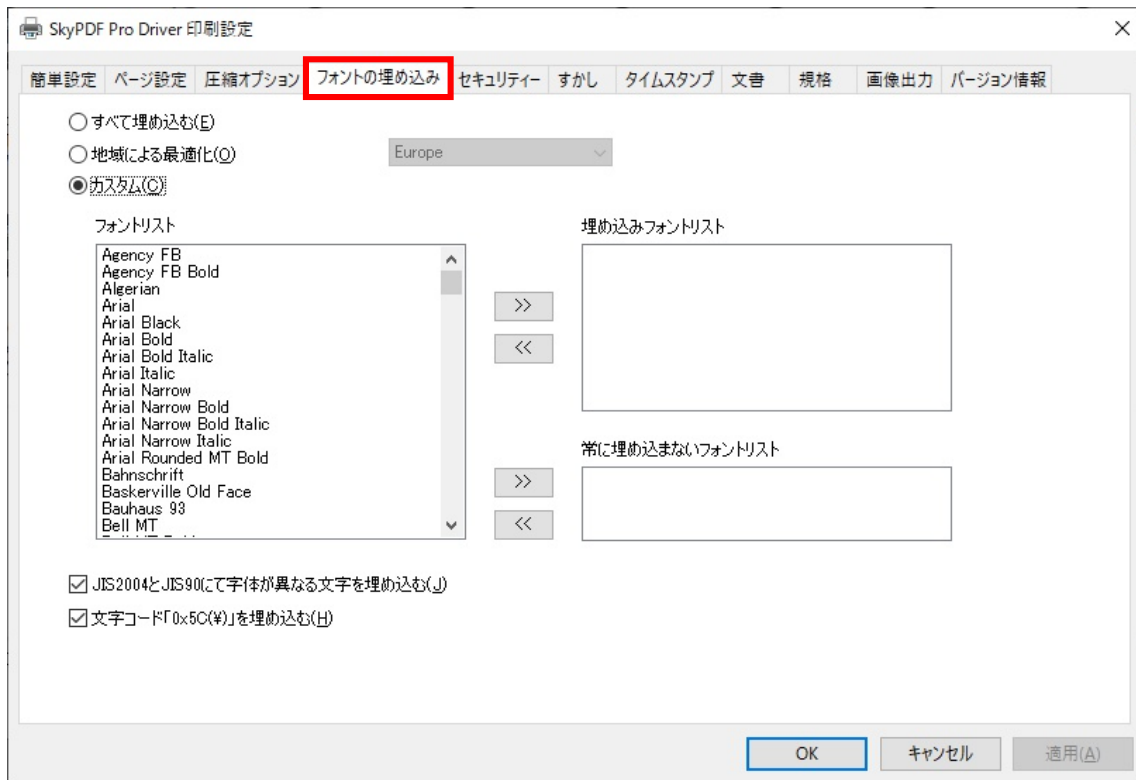


項目	説明
一般	テキストとラインアート（線画）の圧縮、PDF のテキスト出力に関する設定
テキストとラインアートの圧縮	元ドキュメント内のテキストと線画（ドローデータ）を Zip 形式で圧縮する
ASCII フォーマット	PDF ファイルを 7 ビットの ASCII テキスト形式で出力 ASCII 出力した PDF ファイルはテキストエディターで表示して編集することが可能
ダウンサンプリング	ビットマップ画像のダウンサンプリングを行う場合の補間方法と解像度の設定 PDF に画像を埋め込む際、指定した解像度の値以下にダウンサンプリングを行う ※ ダウンサンプリング：画像内のピクセル数の削減 ※ 解像度：1 インチ当たりのピクセル数（単位：dpi） ※ PDF/X と同時に設定することはできません。
バイリニア	印刷品質より印刷速度を優先した補間方法 データ量が小さくなり処理速度が速くなる 単純な画像・図形に向いている
バイキュービック	印刷速度・品質でバランスの取れた補間方法 バイリニアに比べてデータ量が大きくなり処理速度が遅くなるが、より滑らかなグラデーションの画像が得られる 複雑な画像・写真に向いている
スーパーサンプリング	画像内に描かれた物体の輪郭が斜線や曲線の場合に発生する緑のギザギザを軽減する

カラー/グレースケール画像	カラー画像とグレースケール画像の圧縮方法に関する設定
JPEG2000	<p>(対応する PDF バージョン : 1.5 以降)</p> <p>JPEG を発展させたもので、JPEG に比べノイズの発生が少ない</p> <p>処理速度は遅くなるが、高圧縮が可能</p> <p>圧縮率は、「画質 - 最低」がもっとも高く、「画質 - 最高」がもっとも低くなる</p> <p>圧縮には画質の劣化が伴う</p>
JPEG	<p>写真などの連続階調の画像、高解像度でファイルサイズの大きな画像などに適した圧縮方法</p> <p>圧縮率は、「画質 - 最低」がもっとも高く、「画質 - 最高」がもっとも低くなる</p> <p>圧縮には画質の劣化を伴う</p>
Run Length	白または黒の部分が広い範囲でまとまっている白黒画像に適している
Zip	<p>イラストやスクリーンショットなど、均一濃度の部分が多く、階調が連続しない比較的小さい画像に適している</p> <p>画像の劣化は無いが、圧縮率が低いためファイルサイズが大きくなる</p>
圧縮方法自動判定 (JPEG/Zip)	<p>圧縮方法で JPEG2000 または JPEG を選ぶと設定可能</p> <p>自動判定を行うため、処理が遅くなる</p> <p>選択した圧縮方法より Zip 形式の方がサイズ効率が良い場合、自動で Zip 形式が適用される</p>
白黒画像	白と黒のみで構成されている白黒画像の圧縮方法に関する設定
CCITT グループ 3	ファックスの送信時に使われる形式
CCITT グループ 4	<p>ペイントソフトの白黒画像などに適している</p> <p>圧縮によるデータの損失もなく、ほとんどの圧縮画像に適している</p> <p>グループ 3 よりグループ 4 の方が圧縮効果が高い</p>
Zip	白または黒の部分が細かく分かれている白黒画像に適している
Run Length	白または黒の部分が広い範囲でまとまっている白黒画像に適している
JBIG2	他の圧縮形式よりも高圧縮率で圧縮するが、処理が遅くなる

### 3.5 「フォントの埋め込み」タブ

設定画面の「フォントの埋め込み」タブの各項目について説明します。



**フォントの埋め込み**とは、PDF で使用するフォントの情報を PDF 内に埋め込むことです。

フォントを埋め込むと、ファイルサイズは大きくなりますが、そのフォントがインストールされていない別の環境でもレイアウトを損なうことなく PDF を表示・印刷することができます。

フォントを埋め込まない場合、ファイルサイズは小さくできますが、PDF を閲覧する環境やアプリケーションによって異なる表示になる可能性があります。

項目	説明
すべて埋め込む	使用するフォントをすべて埋め込む ※ 異なる環境で閲覧する場合や長期保存を目的とした場合の推奨設定です。 ※ 規格が PDF/A または PDF/X の場合、必ず「すべて埋め込む」を設定してください。
地域による最適化	ヨーロッパ (Europe) または日本 (Japan) のどちらの OS で PDF を使用するかによって、埋め込むフォントを自動で選定する 「すべて埋め込む」指定時より埋め込むフォントの数は少なくなる
カスタム	埋め込むフォントを自己判断で設定する
フォントリスト	インストールされているフォントのうち埋め込み可能なフォントの一覧
埋め込みフォントリスト	PDF で使用する場合は埋め込むフォントのリスト 「フォントリスト」から「>>」で追加し、「<<」で戻す
常に埋め込まないフォントリスト	PDF で使用する場合も、埋め込まないフォントのリスト 「フォントリスト」から「>>」で追加し、「<<」で戻す
JIS2004 と JIS90 にて字体が異なる文字を埋め込む	JIS2004 と JIS90 で字体が異なる文字のフォントを埋め込み、意図した表示を損なうことなく出力する
文字コード「0x5C(¥)」を埋め込む	OS やアプリケーションの違いに左右されず、半角の「¥ (円マーク)」と「\ (バックスラッシュ)」を元ドキュメントどおりに表示できるようフォントを埋め込む

### 3.6 [セキュリティ] タブ

設定画面の [セキュリティ] タブの各項目について説明します。

[セキュリティをかける] のチェックを ON にすると設定できます。

※ セキュリティ設定は PDF/A および PDF/X と同時に設定することはできません。

#### パスワード

項目	説明
ユーザパスワード	PDF を開く際に必要となるパスワード (1～32 文字) ※ [マスタパスワード] と同じパスワードは設定できない
マスタパスワード	印刷権限・編集権限を設定する際に必要となるパスワード (1～32 文字) ※ PDF を開く際に入力するとすべての操作が可能な状態で開く ※ 「オーナーパスワード」とも言う

#### 暗号化レベル

暗号化レベルが高いほどセキュリティの面では効果的です。

暗号化レベルが高いほど PDF のバージョンはより新しくする必要があります。

- 40-bit RC4、128-bit RC4 対応する PDF バージョン : 1.4～1.7
- 128-bit AES 対応する PDF バージョン : 1.6、1.7
- 256-bit AES 対応する PDF バージョン : 1.7、2.0

また、選択した暗号化レベルによって、設定できる権限の項目が異なります。

#### 低 (40-bit RC4) 設定時の権限

項目	説明
印刷を許可しない	印刷することのできない PDF とする
テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない	テキストや画像を選択してコピーしたり、特定のページを抽出したりできない PDF とする

文書の変更を許可しない	リンク、アーティクル、トリミング、フォームフィールドへの入力ができない PDF とする
署名・捺印および注釈、フォームフィールドの追加や変更を許可しない	新しく署名・捺印・注釈・フォームフィールドを設定したり、すでに設定されているものを変更したりできない PDF とする

### 高（128-bit RC4 / 128-bit AES / 256-bit AES）設定時の権限

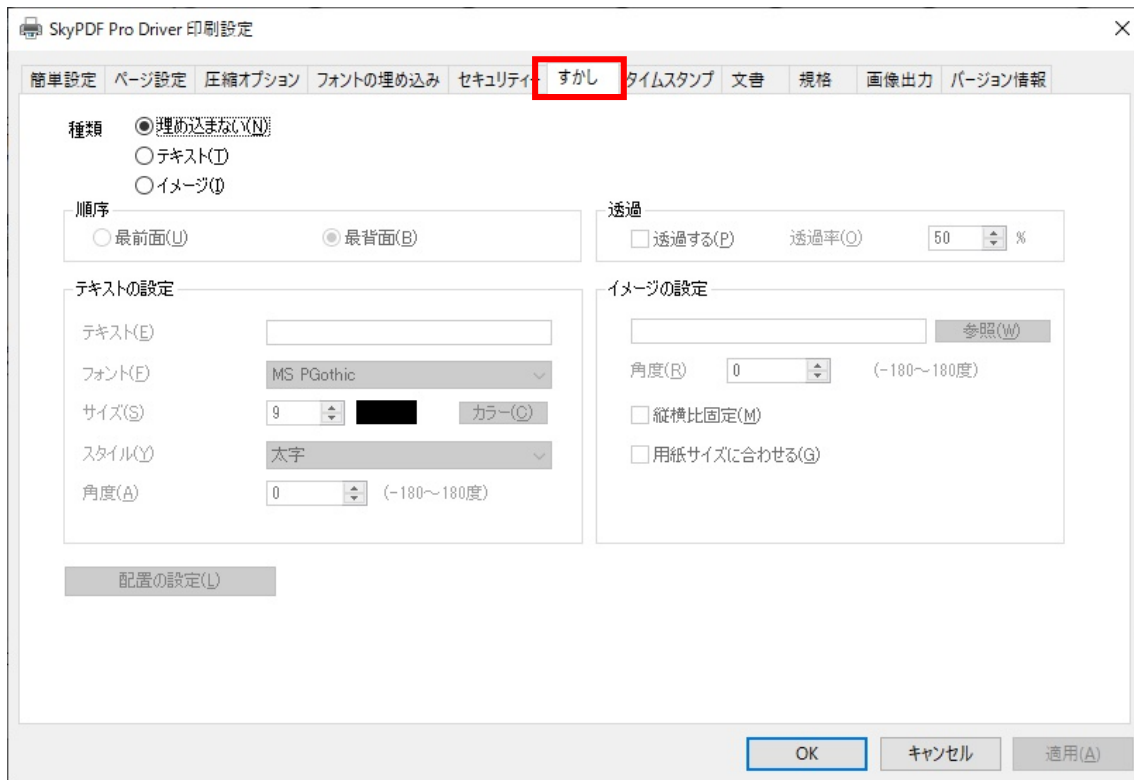
項目	詳細
印刷を許可しない	印刷することのできない PDF とする
すべて印刷	印刷の制限を行わない PDF とする
低解像度で印刷	解像度を 150dpi 以下に設定した場合にのみ印刷できる PDF とする
テキスト、画像、およびその他の内容のコピーや抽出を許可しない	テキストや画像、その他のコピー・抽出ができない PDF とする
アクセシビリティを無効にする	テキスト読み上げ機能などのアクセシビリティ機能を使用できない PDF とする ※ PDF バージョンが 2.0 の場合は無効にできません。
署名・捺印および注釈、しおり、フォームフィールドの追加や変更を <b>許可しない</b>	新しい署名・捺印・注釈・フォームフィールドの追加や変更ができない PDF とする
編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を <b>許可</b>	印刷や、コピー・抽出を除く、すべての編集機能を使用できる PDF とする
署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を <b>許可</b>	フォームフィールドの作成はできないが、フォームフィールドの入力、新しい注釈の作成、署名の追加ができる PDF とする
フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を <b>許可</b>	フォームフィールドへの入力と署名フィールドへの署名ができる PDF とする
文書の追加、挿入、削除、回転を <b>許可</b>	ページの挿入・削除・回転と、しおりおよびサムネイルの作成ができるようにする

×：制限する    ○：制限しない

	文書の変更	文書アクセシブリ	注釈	フォームフィールドの作成	フォームフィールドへの入力	既存の署名フィールドに署名	署名フィールドを作成して署名	テンプレートページの作成	フォームの送信
署名・捺印および注釈、しおり、フォームフィールドの追加や変更を <b>許可しない</b>	×	×	×	×	×	×	×	×	×
編集、注釈、しおり、フォームフィールドの作成、入力および署名・捺印を <b>許可</b>	○	○	○	○	○	○	○	○	○
署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力および既存の署名フィールドへの署名を <b>許可</b>	×	×	○	×	○	○	×	○	○
フォームフィールドの入力または既存の署名フィールドへの署名を <b>許可</b>	×	×	×	×	○	○	×	×	×
文書の追加、挿入、削除、回転を <b>許可</b>	×	○	×	×	×	×	×	×	×

### 3.7 「すかし」 タブ

設定画面の「すかし」タブの各項目について説明します。



本ドライバにおける「すかし」とは、元ドキュメントの内容を編集することなく、前面または背面に挿入するテキストやイメージのことです。

項目	説明
順序	<p>すかしを PDF の最前面に挿入するか、最背面に挿入するか選択する</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>最背面</p> <p>設定画面の [レイア「すかし」] の各項目 [すかしの種類] を項目が表示されます</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>最前面</p> <p>の [レイア「すかし」] の各項目 [すかしの種類] を項目が表示されます</p> </div> </div>
透過	<p>[透過する] にチェックを入れると、0～100%の間で設定できる</p> <p>※ 透過率が低ければ低いほど、追加したすかしは、より透明に近くなります。</p>
テキストの設定	種類として [テキスト] 選択時、すかしとして挿入するテキストについての設定
テキスト	すかしとして挿入する文字列（全角・半角合わせて 1～128 文字）
フォント	テキストのフォント
サイズ	テキストのサイズ（1～100）
カラー	<p>テキストの色</p> <p>※ [ページ設定] の [カラー/白黒] をカラーに設定していれば指定した色で出力されます。白黒に設定している場合はグレースケールとなります。</p>
スタイル	テキストのスタイル（標準 / 太字 / 斜体 / 太字斜体）
角度	テキストの表示角度

イメージの設定	種類として [イメージ] 選択時、すかしとして挿入するイメージについての設定
参照	すかしとして挿入するイメージファイルのファイルパス ファイル形式：BMP (*.bmp)、JPEG (*.jpg, *.jpeg, *.jpe)、PNG (*.png)
角度	イメージの表示角度
縦横比固定	チェックを ON にすると、[配置の設定] で縦横の比率を変えずにイメージのサイズを変更可能になる
用紙サイズに合わせる	イメージを用紙全体に拡大する

## 配置の設定

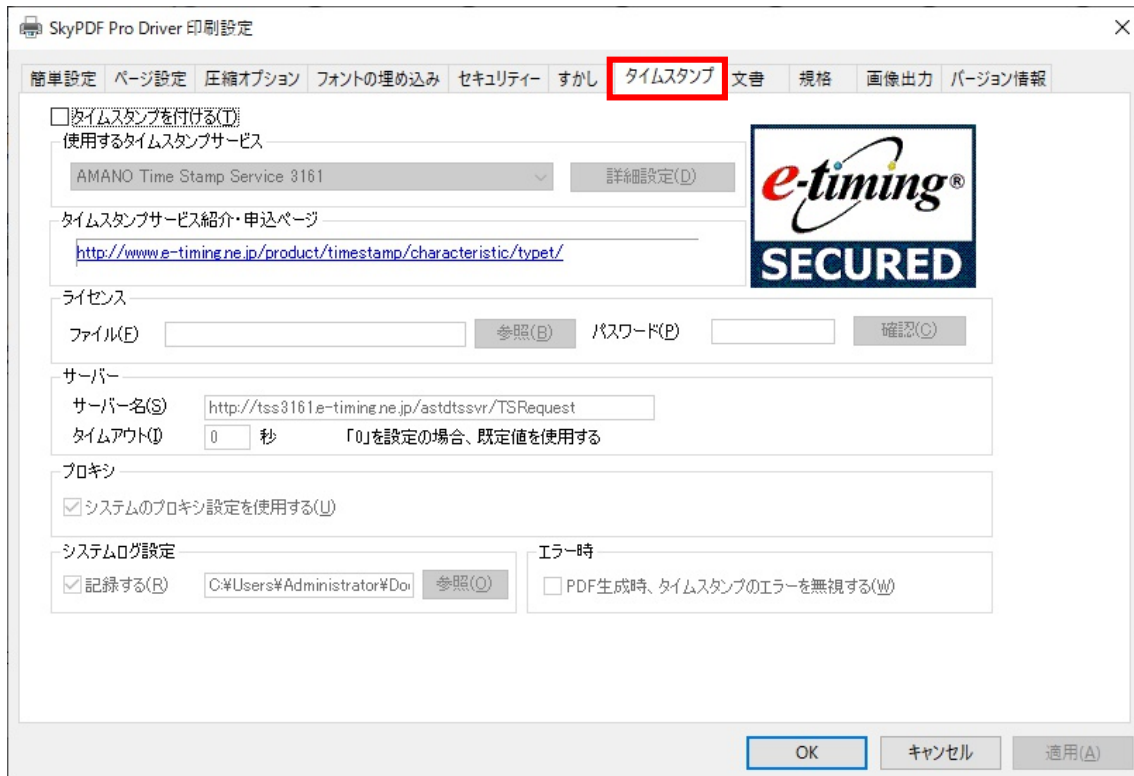
すかしの配置位置について設定します。[すかしの種類] によって設定の可否が異なります。

項目	説明
配置	すかしの配置に関する設定
基準点	基準となる配置位置 (左上 / 上 / 右上 / 左 / 中央 / 右 / 左下 / 下 / 右下)
縦の移動量 横の移動量	<p>[基準点] で指定した位置からの移動量</p> <p>上または左に移動させたい場合：負の数値</p> <p>下または右に移動させたい場合：正の数値</p>
サイズ	<p>イメージサイズ</p> <p>[イメージの設定] で [縦横比固定] を ON にしている場合は、いずれかの値を変更すると、もう一方は自動的に変更される</p>
単位	<p>縦横の移動量やサイズで指定する値の単位 (インチ / ポイント / ミリ)</p> <p>※ 1 インチ = 72.0 ポイント = 25.4 ミリ</p>



### 3.8 [タイムスタンプ] タブ

設定画面の[タイムスタンプ]タブの各項目について説明します。  
[タイムスタンプを付ける]のチェックをONにすると設定できます。



タイムスタンプは、次のような2つの効果によって電子データの証拠性を確保します。

**存在証明** : タイムスタンプが付与された日時に、確かにデータが存在していたことの証明

**完全性証明** : タイムスタンプが付与された日時以降、そのデータが改ざんされていないことの証明

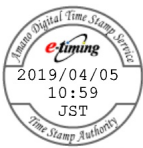

#### タイムスタンプ機能の注意事項

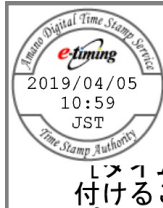

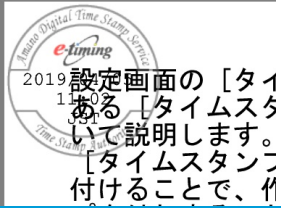
- ・ タイムスタンプ機能は、[ページ設定]タブの[Web表示用に最適化]設定と同時に設定することはできません。
- ・ タイムスタンプ機能は、PDF/A および PDF/X と同時に設定することはできません。
- ・ 本ドライバでPDFにタイムスタンプを付与するには、アマノセキュアジャパン株式会社の「アマノタイムスタンプサービス 3161」が必要です。タイムスタンプサービスの利用申し込みやライセンスファイル・証明書ファイルについての詳細は、アマノセキュアジャパン株式会社にお問い合わせください。
- ・ SHA256 非対応の古いライセンスファイルは使用できません。ライセンスの更新については、アマノセキュアジャパン株式会社にお問い合わせください。
- ・ [ページ設定]タブで[白黒]を設定していても、タイムスタンプの印影はカラーになります。
- ・ [すかし]タブですかしを[最前面]に設定していても、タイムスタンプの印影はすかしより前面に追加されます。

項目	説明
ライセンス	ライセンスファイルとそのパスワードの設定
ファイル	アマノセキュアジャパン株式会社から配布される、「アマノタイムスタンプサービス 3161」のライセンスファイル (*.atl) のパス
パスワード	ライセンスファイルのパスワード (0～20 文字)
確認	タイムスタンプサーバーに接続し、指定したファイルとパスワードが使用できるか確認できる
サーバー	タイムスタンプサーバーの URL と接続タイムアウト時間
サーバー名	タイムスタンプサーバーの URL 通常はデフォルト (http://tss3161.e-timing.ne.jp/astdtssvr/TSRequest) のまま使用可
タイムアウト	タイムスタンプサーバーに接続する際のタイムアウト時間 (単位: 秒) ※ 0 指定時は規定値の 5 秒となります。
プロキシ	[システムのプロキシ設定を使用する] のチェックを ON にすると、タイムスタンプサーバーに接続する際、システムのプロキシ設定を使用して通信を行う
システムログ設定	[記録する] のチェックを ON にすると、システムログを出力するフォルダーを指定することができる
エラー時	[PDF 生成時、タイムスタンプのエラーを無視する] のチェックを ON にすると、タイムスタンプ付与に失敗した場合にタイムスタンプ無しの PDF を生成する OFF にすると、タイムスタンプ付与に失敗すると PDF は生成しない

## 詳細設定

タイムスタンプの印影・検証・日時形式に関する設定を変更できます。

項目	説明
印影の形式	PDF に付与されるタイムスタンプの印影を選択する <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>[不可視]</span> <span>[丸型]</span> <span>[角型]</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

印影の背景色を透過させる	<p>チェックを ON にすると、印影の背景を透明にして、文書上に印影を配置しても文書を読み取れるようになる</p> <div> <div> <p>チェック OFF 時</p>  </div> <div> <p>チェック ON 時</p>  </div> </div>
印影を半透明にする	<p>チェックを ON にすると印影を半透明にすることができる</p> 
可視印影の詳細設定	<p>印影の追加位置やリンクの有無に関する設定</p>
ページ	<p>印影を追加するページ番号と ページ左上を基点とした移動量（単位：mm）で位置を指定する</p>
ページを逆順に指定する	<p>チェックを ON にすると、[ページ] で指定したページ番号を、最終ページからのページ数としてカウントする</p>
タイムスタンプ生成時の検証処理	<p>PDF にタイムスタンプを付与する際、検証を行うかの設定          検証を行う場合、証明書のインストールが必要となる          検証を行い、検証結果の不正や検証処理のエラーを検知した場合、タイムスタンプを付与しない</p> <p>【検証内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① タイムスタンプに含まれる TSA 証明書</li> <li>② TSA 証明書のルート CA 証明書</li> <li>③ CRL</li> <li>④ CRL のルート CA 証明書</li> </ol>
検証する	<p>①、②、③、④の検証を行い、すべての検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する</p>
TSA 証明書の失効確認以外を検証する	<p>①、②の検証を行い、検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する</p>
TSA 証明書のみ使用して検証する	<p>①の検証を行い、検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する</p>
検証しない	<p>検証を行わずにタイムスタンプを付与する</p>
日時形式の設定	<p>印影に表示するタイムスタンプ追加日時の日付形式・時刻形式</p>
日付形式	<p>プルダウンメニューから選択          ※ 設定項目の日付は例としてダイアログを開いた時点の日付を表示しています。実際にはタイムスタンプを追加した瞬間の日付となります。</p>
時刻形式	<p>プルダウンメニューから選択          ※ 設定項目の時刻は例としてダイアログを開いた時点の時刻を表示しています。実際にはタイムスタンプを追加した瞬間の時刻となります。</p>
タイムゾーンの表示設定	<p>印影に表示するタイムスタンプ追加日時のタイムゾーン</p>
略称で表示する	<p>選択したタイムゾーンの略称をタイムスタンプに表示する</p>
UTC との時間差で表示する	<p>UTC（時刻を記録する際に使用される世界共通の時刻）との時間差を明示的に設定する</p>

アマノタイムスタンプの検証を行うには証明書のインストールが必要です。

以下の手順に従ってインストールしてください。

なお、[タイムスタンプ生成時の検証処理] の設定を [検証しない] に設定する場合は不要です。

※ 詳細：アマノセキュアジャパン株式会社「ルート CA 証明書および中間 CA 証明書の追加設定のお願い」  
( <https://www.e-timing.ne.jp/news/detail/70> )

1. アマノセキュアジャパン株式会社の「アマノタイムスタンプサービス 3161 のリポジトリ及びその他公開情報」のページ (<https://www.e-timing.ne.jp/repository/timestamp3161/>) から、セコムトラストシステムズ株式会社のダウンロードページにアクセスし、以下に示すルート CA 証明書と中間 CA 証明書をダウンロードします。

ルート CA 証明書      [https://repository.secomtrust.net/SC-Root3/Security Communication RootCA3 Certificate \(SCRoot3ca.cer\)](https://repository.secomtrust.net/SC-Root3/Security%20Communication%20RootCA3%20Certificate%20(SCRoot3ca.cer))

中間 CA 証明書      [https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/SECOM TimeStamping CA3 \(ca3-der.cer または ca3.cer、どちらでも可\)](https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/SECOM%20TimeStamping%20CA3%20(ca3-der.cer%20または%20ca3.cer))

2. ダウンロードした証明書ファイルをそれぞれ実行します。  
セキュリティの警告が表示された場合は [開く] を押して進みます。
3. [証明書のインストール] を押します。
4. 目的に応じて保存場所を選択し、[次へ] を押します。
5. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] を押します。
6. ルート CA 証明書 (SCRoot3ca.cer) の場合は [信頼されたルート証明機関] を、  
中間 CA 証明書 (ca3-der.cer または ca3.cer) の場合は [中間証明機関] のストアを選択し、  
[OK] を押します。
7. [次へ] を押します。
8. [完了] を押すと、証明書がインポートされます。  
ダウンロードしたルート CA 証明書と中間 CA 証明書を**両方とも**インポートできたら完了です。

### 3.9 [文書] タブ

設定画面の[文書]タブの各項目について説明します。

[文書]タブでは、作成するPDFの文書情報や、出力したPDFを表示する時の設定、リンクについて設定することができます。

#### 文書情報

項目	説明
タイトル	タイトル (0～256 文字) ※ PDF/X で出力する場合、必ず設定してください。
作成者	作成者 (0～256 文字)
サブタイトル	サブタイトル (0～256 文字)
キーワード	キーワード (0～256 文字)
文書情報をメタデータとして出力する	[文書情報をメタデータとして出力する]を有効にすると、通常は PDF 内部の一要素として出力する文書情報 (タイトル、作成者、サブタイトル、キーワード) をメタデータに出力できる ※ PDF バージョンが 2.0 の場合と、規格が PDF/A または PDF/X の場合は、必ず設定します。

## 出力した PDF を表示する時の設定

PDF をビューアーで表示する時の初期設定を変更できます。

※ 出力した PDF を表示する時の設定は PDF に埋め込むものです。PDF に埋め込まれた情報をどこまで読み込み可能か、読み込んだ内容を表示設定に対しどのように反映するかは、使用する PDF ビューアーによって異なる可能性があります。

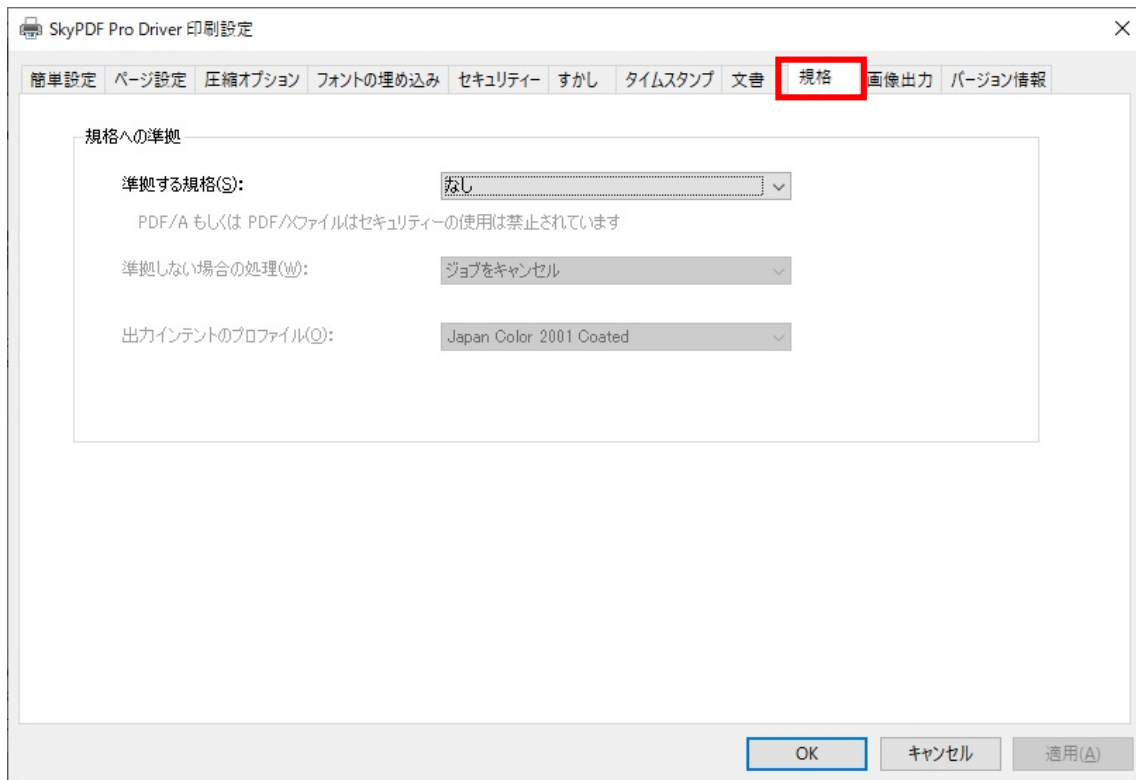
項目	説明
ナビゲータ表示	出力した PDF を開いたときのビューアーのナビゲータ表示の設定
ページのみ	ビューアーに従う
しおりパネル	ナビゲータのしおりパネルを表示する
ページパネル	ナビゲータのサムネイル表示を行うパネルを表示する
添付ファイルパネル	ナビゲータの添付ファイルパネルを表示する
倍率	出力した PDF を開いたときの表示倍率
指定しない	ビューアーに従う
幅に合わせる	ビューアーの幅に合わせた倍率で表示する
全体表示	ビューアーの表示エリアに 1 ページ全体を表示できる倍率で表示する
25～1000%	指定した倍率で表示する
表示レイアウト	出力した PDF を開いたときのページレイアウト
指定しない	ビューアーに従う
ページ単位表示	1 ページずつ表示する
ページ単位見開き表示	2 ページずつ表示する
ページ単位見開き表示 （表紙）	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ表示する
連続ページ表示	1 ページずつ連続して表示する
連続ページ見開き表示	2 ページずつ連続して表示する
連続ページ見開き表示 （表紙）	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ連続して表示する
表示ページ	出力した PDF を開いたとき最初に表示するページのページ番号

## リンク

項目	説明
URL を自動的に PDF リンクへ変換する	元ドキュメント内にある「http://」「https://」「ftp://」「file://」「mailto:」で始まる文字列と「xxx@xxx.xxx」形式で記載される文字列は、PDF 化の際にハイパーリンクに変換する ※ PDF/X と同時に設定することはできません。

### 3.10 「規格」 タブ

設定画面の「規格」タブの各項目について説明します。



#### 準拠する規格

PDF には、標準の PDF 規格の他に複数の規格があります。用途に合わせて適宜設定してください。

項目	説明
なし	設定した PDF バージョンの仕様に準拠した標準の PDF 規格
PDF/A-1b	ISO19005-1 に一部準拠した、PDF1.4 の仕様にに基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/A-2b	ISO19005-2 に一部準拠した、PDF1.7 の仕様にに基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/A-4	ISO19005-4 に一部準拠した、PDF2.0 の仕様にに基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/X-1a(2001)	ISO15930-1 に準拠した、プリプレスデータ交換用の規格
PDF/X-1a(2003)	ISO15930-4 に準拠した、プリプレスデータ交換用の規格

準拠する規格ごとに設定できる機能に差があります（下表参照）。

◎：設定必須 ○：設定可 ×：設定不可 記載の無い機能：影響無し

機能		準拠する規格	
タブ	設定項目	PDF/A	PDF/X-1a
ページ設定	PDF バージョン [自動]	◎	◎
	PDF バージョン [1.4] ～ [2.0]	×	×
圧縮オプション	ダウンサンプリング [補間方法]	○	×
	カラー/グレースケール画像 [JPEG2000(画質-最高)～(画質-最低)]	1b：× 2b, 4：○	×
	白黒画像 [JBIG2]	○	×
セキュリティ	[セキュリティをかける]	×	×

すかし	透過率 100%	○	○
	透過率 0～99%	1b : × 2b, 4 : ○	×
タイムスタンプ設定	[タイムスタンプを付ける]	×	×
文書	[文書情報をメタデータとして出力する]	◎	◎
	[URL を自動的に PDF リンクへ変換する]	○	×
画像出力	画像 PDF のダウンサンプリング [補間方法]	○	×

### 準拠しない場合の処理

処理中に次のような状態を検知した場合、指定した規格での PDF 生成ができません。

- 埋め込み禁止フォントが使用されている
- インストール先に ICC プロファイルがない
  - ※ ICC プロファイルとは  
International Color Consortium の公表した標準に従ったカラーマネジメントの仕様を記述したもの
- PDF/A-1b または PDF/X-1a と、透過画像を使用したすかしが同時に設定されている

このような場合の処理を選択します。

項目	説明
ジョブをキャンセル	PDF 生成を中止し、エラーメッセージを通知
続行	指定した規格に準拠しない、標準の PDF を生成

### 出力インテントのプロファイル

出力する PDF の色空間プロファイルを設定できます。

PDF/A 指定時

- sRGB
- Adobe RGB (1998)
- Apple RGB
- ColorMatch RGB

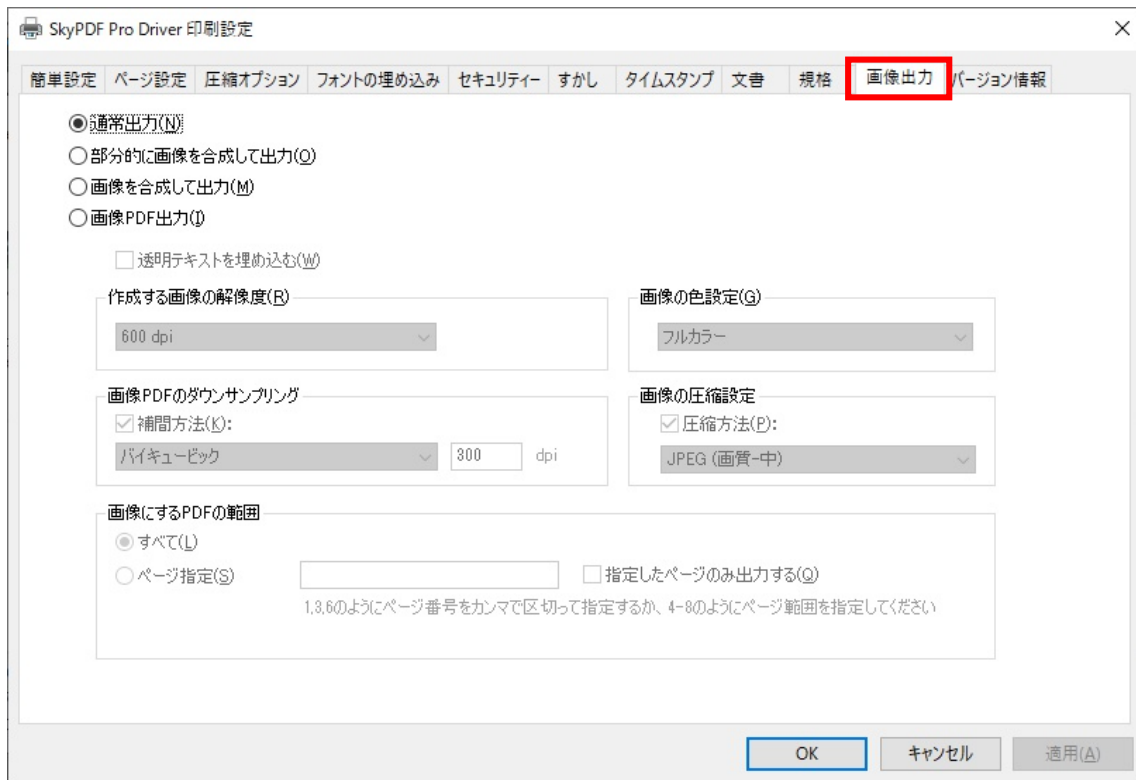
PDF/X-1a 指定時

- US Web Coated (SWOP) v2
- US Web Uncoated v2
- Coated GRACoL 2006 (ISO 12647-2:2004)
- Web Coated SWOP Grade 3 Paper
- Web Coated SWOP Grade 5 Paper
- Coated FOGRA27 (ISO 12647-2:2004)
- Web Coated FOGRA28 (ISO 12647-2:2004)
- Uncoated FOGRA29 (ISO 12647-2:2004)
- Coated FOGRA39 (ISO 12647-2:2004)
- Japan Web Coated (Ad)
- Japan Color 2001 Coated
- Japan Color 2001 Uncoated
- Japan Color 2002 Newspaper
- Japan Color 2003 Web Coated

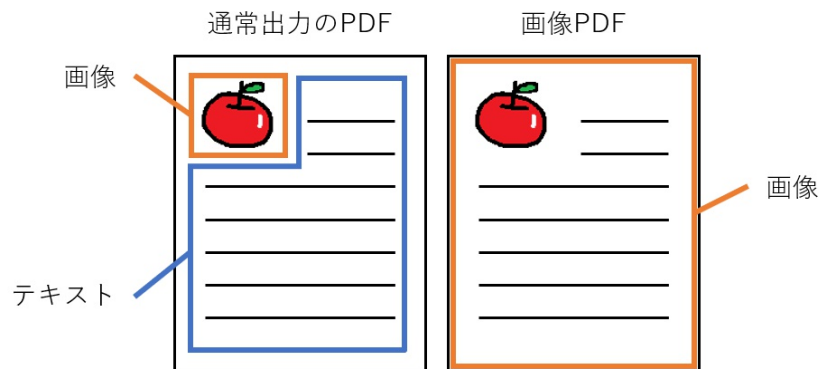


### 3.11 「画像出力」タブ

設定画面の「画像出力」タブの各項目について説明します。



「画像出力」タブでは、元ドキュメントの表示内容のすべて、または一部を画像に変換して PDF を出力するよう設定することができます。

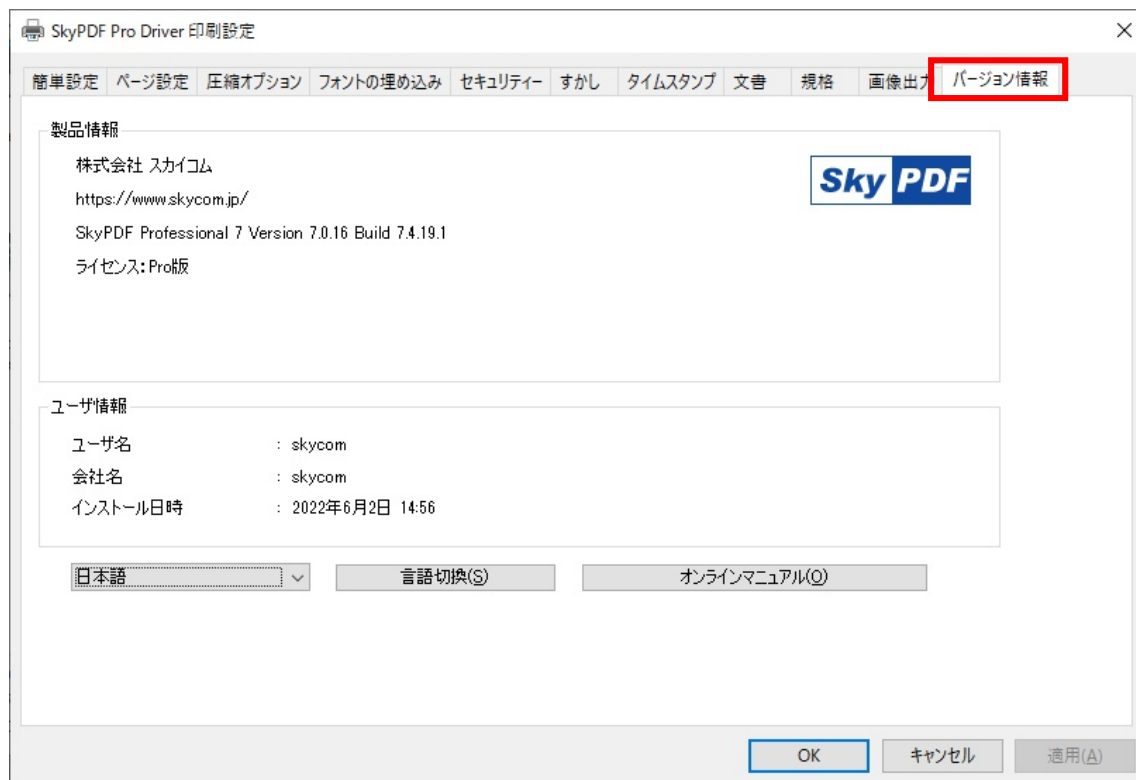


項目	説明
通常出力	標準的な出力方法 元ドキュメントの表示内容を画像としない場合に選択
部分的に画像を合成して出力	本製品が対応していない ROP（ラスタオペレーション）が検知された場合、その部分のみを画像化して出力する方式 元ドキュメントの再現性は高まるが、[通常出力]と比較すると印刷速度が遅くなる
画像を合成して出力	対応・非対応に関わらず、ROP はすべて画像化する方式 元ドキュメントの再現性は高まるが、[部分的に画像を合成して出力]と比較すると印刷速度が遅くなる

画像 PDF 出力	元ドキュメントの表示内容をすべて画像に変換し、PDF を作成する方式 画像として出力することで、PDF に変換することができない複雑な描画命令を再現することができる
透明テキストを埋め込む	元ドキュメントのテキストを読み取って透明テキストとして埋め込む 通常、画像 PDF は文字検索やテキストコピーができないが、透明テキストを埋め込むことで文字検索やテキストコピーができる 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可
作成する画像の解像度	画像の解像度をプルダウンから選択 高い値を設定すれば元ドキュメントの再現性は高まるが、ファイルサイズが大きくなる 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可 ※ PDF をモニターで表示する場合、〔72dpi〕または〔96dpi〕でも問題はありません。 ※ 元ドキュメントのレイアウトを変えずに PDF を作成したい場合や、高品質での印刷が必要な場合は、300dpi 以上の解像度を指定してください。
画像の色設定	作成する画像の色設定（モノクロ / グレースケール / フルカラー） 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可
画像 PDF のダウンサンプリング	ダウンサンプリングを行う場合は、チェックボックスを ON にして、補間方法と解像度（72dpi 未満は設定不可）を設定する 補間方法と解像度を指定すると、指定した解像度よりも高い解像度の画像が元の文書にある場合に、指定した補間方法で指定した解像度までピクセル数が削減する 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可 （参照：3.4 <a href="#">〔圧縮オプション〕タブ</a> ）
画像の圧縮設定	圧縮を行う場合は、チェックボックスを ON にして、圧縮方法を設定する 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可 （参照：3.4 <a href="#">〔圧縮オプション〕タブ</a> ）
画像にする PDF の範囲	画像 PDF として作成したいページを設定する 〔すべて〕を選択すると、PDF にする全ページが画像として出力される 〔ページ指定〕を選択すると、指定ページのみ画像となり、指定ページ以外は通常出力される 指定ページ以外が不要な場合、〔指定したページのみ出力する〕にチェックをつける 〔画像 PDF 出力〕選択時のみ設定可

### 3.12 [バージョン情報] タブ

設定画面の [バージョン情報] タブの各項目について説明します。



項目	説明
製品情報	当社の社名・URL、製品名とそのバージョン、ライセンスの状態を表示
ユーザ情報	インストール時に入力したユーザ名・会社名、インストールの日時を表示
言語切換	左のプルダウン（日本語 / 英語 / 中国語（簡体字） / 中国語（繁体字））で言語を選択後、［言語切換］を押すと、製品全体の言語を切り替える 次回起動時に選択した言語で表示される
オンラインマニュアル	オンラインヘルプを表示する
製品版への変更	試用版のみ表示される 表示された「ユーザ登録」ダイアログで、必要事項（お名前、会社名、シリアル No.）を入力し「登録」を押すと、製品版へ移行可能

## 4 制限・注意事項

本ドライバのご利用に際し、以下の制限事項・注意事項にご注意ください。

### 4.1 対応アプリケーションに関する事項

1. SkyPDF Pro Driver は UWP アプリからの印刷には非対応です。そのため、UWP アプリから本ドライバを指定して印刷（PDF 化）すると、以下のような問題が発生する場合があります。
  - 本ドライバを直接印刷設定※にしていると、PDF が作成できないなどの問題が発生する場合があります。
    - ※ 「デバイスとプリンター」画面の [SkyPDF Pro Driver] 右クリック - [プリンターのプロパティ] - [詳細設定] タブ - [プリンターに直接印刷データを送る]
  - UWP アプリから印刷すると、処理が無反応もしくは停止したような状態になる場合があります。
2. 対応アプリケーションの場合でも、レイアウトやファイルサイズなどの条件により、稀に PDF の精度が損なわれる場合があります。

Visio の場合、入力した Bold（太字）、Italic（斜体）、ItalicBold（太字斜体）文字が、テキストではなくグラフィックと認識されて PDF 変換される場合があります。また、標準字体でもグラフィックとして認識される場合（以下の例を参照）があります。

例：Visio では“MS P ゴシック”のフォントの標準字体の場合、印刷解像度 300dpi 以下では文字は全てグラフィックとして認識されます。また、印刷解像度 600dpi ではフォントサイズが 86pt 以上、1200dpi では 43pt 以上、2400dpi では 22pt 以上の文字は全てグラフィックとして認識されます。
3. Visio の場合、Visio の仕様により、印刷設定で用紙の向きを変更しても反映されません。

### 4.2 ページ設定に関する事項

1. [空白ページを除去する] 設定を有効にしている場合でも、PowerPoint ファイルの空白ページは除去されません。
2. [空白ページを除去する] 設定を有効にしている場合でも、Word ファイルでは、改行文字が入っていない空白ページ（[挿入] - [ページ区切り] で作成したもの）のみ除去されます。

Enter キーを押して作成した空白ページや、空白のページ作成（[挿入] - [空白のページ]）で作成された空白ページは改行文字が入るため、除去されません。
3. 文書内リンクなどのオブジェクトが大量にあるものを元ドキュメントとした場合、[Web 表示用に最適化] 設定に関する処理が終了しない場合があります。

### 4.3 PDF 規格に関する事項

1. PDF/A として出力した PDF は、元から埋め込まれているフォントに設定されている CIDSet に不備がある場合、Adobe Acrobat XI のプリフライトが一部正常に実施されない場合があります。
2. 外字領域で文字が割り当てられていない文字コードが使われている時、PDF/A 規格の PDF 出力ができない場合があります。

### 4.4 フォントの埋め込みに関する事項

1. SkyPDF Pro Driver の「フォントの埋め込み」設定で Type1 フォントを設定し、そのフォントを使用して作成された文書を PDF に変換した場合、アプリケーションによっては、その PDF を開くとエラーメッセージが表示されたり、Type1 フォント部分を空白で表示したり、などといった意図しない表示となる可能性があります。

#### [対処]

次のうちいずれかの対処策を行ってください。

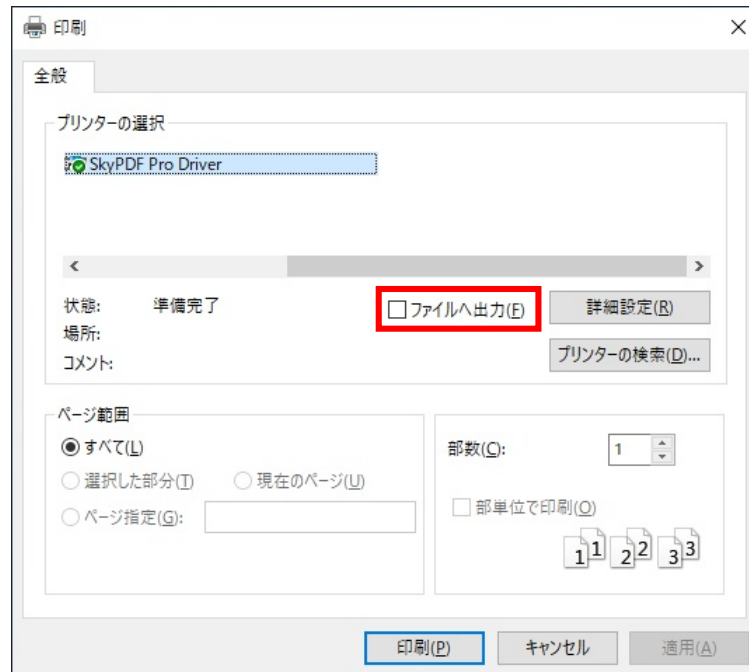
- a. Type1 フォントを利用する際は、フォントの埋め込みを行わない。  
※ ただし、埋め込みを行わないため、PDF ファイルを開く環境に該当フォントがインストールされていない場合、代替フォントで表示される可能性があります
- b. Type1 フォントを他のフォントに変更する
- c. 本製品で PDF ファイルを開く

### 4.5 圧縮オプションに関する事項

1. アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。  
例えば、同じアプリケーションから同じ TIFF 画像を PDF に変換する場合でも、32 ビット OS では「モノクロ画像圧縮」の設定が有効になり、64 ビット OS では「カラー/グレースケール画像圧縮」が有効になることがあります。

## 4.6 OS の機能に関する事項

1. OS の [ファイルへ出力] オプションを有効にして印刷を行う場合、本ドライバーの [ページ設定] タブにある以下の設定は適用されません。（参照：[3.3 \[ページ設定\] タブ](#)）
  - ・出力フォルダの設定
  - ・同名ファイルが存在した場合の設定
  - ・ファイル名に日付を付加する
  - ・ファイル保存後に開く



## 4.7 ハイパーリンクに関する事項

1. ハイパーリンク対象文字列は 1 行のみです。
2. ハイパーリンク対象文字列の中に、下記の文字が含まれていると、その文字以降がハイパーリンク化されません。

( ^ ¥ | ' "

(例) [https://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418\(VS.80\).aspx](https://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx)  
を PDF 化した場合、  
<http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418>  
までがハイパーリンク文字列となります。

3. 一太郎の場合、e-mail アドレスの直前に文字と空白があると、空白が無視され、文字とアドレスがハイパーリンクとして認識されます。

例：[e-mail ii-help@skycom.co.jp](#) の場合、

"ii-help@skycom.co.jp"でなく、"e-mailii-help@skycom.co.jp"となってしまいます。

この部分の空白が無視される

4. Visio の場合、Visio は文字データが分割されて扱われるため、PDF 作成時にハイパーリンク文字列が認識出来ません。ただし、他アプリ（Word 等）からの貼り付けであれば、ハイパーリンクが付与できます。

※ 各項目のフォントの条件を満たす必要があります

5. Excel および PowerPoint の場合、特殊記号が別のフォント扱いになるため、通常文字と特殊記号が別々の文字列になり、ハイパーリンク文字列として認識されません。

例：特殊なフォント一覧

Estrangelo Edessa, Gautami, Latha, Mangal, Raavi, Shruti, Tunga



**SkyPDF Pro Driver**

印刷設定マニュアル

第10版 2023年4月26日 発行